



健康福祉センターさわやか ☎76-4006

高次脳機能障害を 知っていますか？

高次脳機能障害とは

身 近に交通事故や脳血管疾患の後、「何か様子がおかしい」、「怒りっぽくなった」、「仕事ができなくなつた」という方はいませんか？

高次脳機能障害とは事故による頭部外傷や脳血管疾患の後遺症などにより、日常生活や社会生活に支障をきたす障害です。

例えば脳血管疾患を発症し、重い意識障害に陥るような状態です。

高次脳機能障害の主な症状

物事に集中できなくなったり、気が散りやすくなった

物事の優先順位が決められず、一つ一つ指示されなければ行動に移せない

新しいことが覚えられなくなったり、以前のことを思い出せなくなつた

人の気持ちをうまく察せず、感情のコントロールができない

態となり、治療の後、意識が戻って歩行や食事ができるようになり、外見上は回復したように思えるのに、「会話がうまくかみ合わない」、「段取りをつけて物事を行うことができない」などの症状が現れ、周囲の人に「人が変わった」、「怠け者になった」という印象を与えることがあります。

高次脳機能障害は外見だけではわかりにくいことが多いため、「見えない障害」と言われており、周囲の理解が得られにくい障害のひとつです。

高次脳機能障害への対応

高次脳機能障害は手術治療や内服治療、点滴治療といった確立した治療方法がありません。社会復帰を目指してリハビリテーションを行うことが中心となります。

高次脳機能障害の症状は、脳の損傷した場所によって、人それぞれ異なり、重症度も

高次脳機能障がい者・家族交流会

- 日程 6月5日(金)/9月4日(金)
12月4日(金)/3月4日(金)
- 時間 13時30分
- 場所 室蘭保健所

こころの健康相談

- 日程 7月14日(火)/9月8日(火)
11月10日(火)/1月12日(火)
3月8日(火)
- 時間 13時
- 場所 伊達市保健センター

◆事前の予約が必要。室蘭保健所(☎0143-24-9846)までお早目にお申し込みください。

様々です。また、環境や対応する相手によって、現れ方が異なる場合もあります。周囲の環境を整えたり、対応の仕方を工夫するなど、適切な対応を行えば、それまでうまく出来なかつたことが出来るようになったり、問題行動が減つたりすることがあります。まずは、ご家族や周りの方がその変化を理解することから対応は始まります。早めに専門機関にご相談ください。

師や専門の医師による「こころの健康相談」やご本人・ご家族のための集まり「交流会」などを行っています。ぜひ活用ください。

- 相談窓口
- ・ 健康福祉センター さわやか (☎76-4006)
- ・ 室蘭保健所 健康推進課 健康支援係 (☎0143-24-9846)

室蘭保健所では、保健

高次脳機能障害チェックポイント

- 些細なことで怒ったり、泣いたり、感情の起伏が激しくなつたと感じることもある
- 食事の際に、喉につかかたり咳き込むようなことが見られるようになった
- 暖かい場所で寒く感じる、寒い場所で暑いと感じるような、周囲の人と温度感が違うように感じられることがある
- 趣味としていたことや好きだったものに、興味を示さなくなつた
- 事故前と比較して、人ごみや雑音に不快感を示すようになり、一人でいる時間を好むようになった
- 伝えたいことがあっても言葉がなかなか出てこない時がある